

信濃川左岸堤防 小千谷市旭橋付近

調査日：平成16年11月8日（月）

班：地盤土構造マネジメント班 [古関・石原]

分類別：被災状況

キーワード別：河川堤防、液状化

調査結果

堤外側のり面（勾配は1：2）をコンクリートブロックで保護しのり肩にパラペットを設置した特殊堤である（図1）。小段部では5cm程度のブロック目地の開きと最大15cm程度の段差が発生していた（写真1）。また、前面平張りのコンクリートにも40cm程度の沈下した箇所があった。調査時に、大きな目地の開きや平張りのコンクリートの沈下などの復旧工事を行っていた（写真2）。堤外地側最下段のブロック境界から噴砂（中砂）によるものと思われる砂が堆積していた（写真3）。また、排水樋門から信濃川本川に褐色排水が流入していた（写真4）。

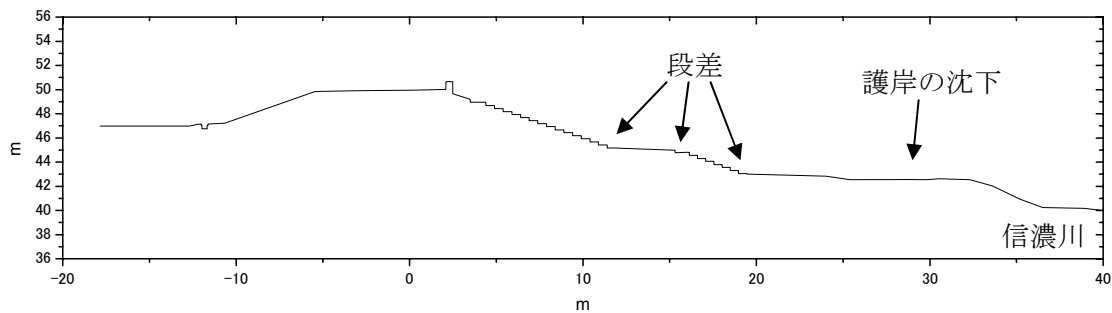


図1 信濃川左岸 34.0km 堤防断面図（データ：国土交通省北陸地方整備局提供）



写真1 小段部で生じた段差



写真2 平張りのコンクリート沈下の復旧状況



写真3 噴砂？



写真4 信濃川本川に流入する褐色排水